



響け、青学マインド。

青山学院 × 立教学院 創立150周年記念トークイベント



創立150周年ビジョン

切磋琢磨し、未来をひらく

日本有数のキリスト教系学校、青山学院と立教学院が今年、ともに創立150周年を迎えることを記念し、7月6日に有楽町よみうりホールで合同のトークイベントが開かれた。第1部では両校の院長が学校の過去と未来について語り合い、第2部では、両大学が強化に力をそそぐ駅伝競技の魅力めぐる関係者が熱のこもったトークを繰り広げた。

第2部 駅伝トークセッション



青山学院大学教授、陸上競技部監督
原晋

2004年、青山学院大学陸上競技部監督に就任。09年、33年ぶりの箱根駅伝出場、15年、同総合優勝、17年、大学駅伝3冠に導く。

原 何が起こるかかわからないのが駅伝のおもしろさです。今年の正月、青山学院が優勝すると

西原 立教大学は創立150周年を迎える年に、箱根駅伝の本選出場を目指して陸上競技部を強化してきましたが、昨年1年前倒しで達成し、2年連続の出場を果たすことができました。徳光 昨年の55年ぶりの出場はOBとしても本場にうれしかった。

本質を追求する 原マジック

原 肩の力を抜いてあげようという意図でしたが、指導者として学んだことがあります。直前合宿で選手16人中13人がインフルエンザにかかりました。こういう場合、厳しいトレーニングで挽回しようとしがちですが、あえて練習量を少し下げた。結果として学生はリフレッシュして120%の力を出してくれました。

予測ができない おもしろさ

上重 前評判がよくない中、原監督は2位でいいと学生に声をかけたとか。

心を震わせる「青春のライブ」

原 京セラ創業者の稲森和夫さんに「小善は大悪に似たり」という言葉がありますが、物事の本質を追求する指導を心がけてきました。学生にとって心地よい言葉はいい結果を生みません。だめなところをだめという指導を続けるうち本質を追求する土壌がチームに育ち、徐々に結果が出始めたのだと思います。それと監督にも監督がいるんです。妻の美穂です（笑）。私たちが寮監、寮母として学生40人と同じ屋根の下で共同生活しているのが、青山学院の一番の強みかもしれません。



俳優
高橋克典氏

青山学院初等部に入學。1993年に歌手、俳優としてデビュー。現在、青山学院評議員、理事長諮問委員を務める。



フリーアナウンサー
徳光和夫氏

立教大学社会学部卒業後、日本テレビに入社。アナウンサーとして数多くの番組を担当。1989年、フリーアナウンサーに。

高橋 コーチやマネージャーの存在も大きいそうですね。選手モチベーションを高める関係性を築いていると聞きます。

ゆくゆくは見たい 両校の優勝争い

西村 青山学院は今年いい選手が入学しましたね。駅伝ファンとして、どこの区間で起用するか気になっています。

原 期待はしていますが、新しい環境に慣れ始めた1年生に頼りすぎるのはよくないと思っています。また、昨年の優勝メンバーが7人残っていて磐石と思

西原 10年後、両校が優勝争いするようなことがあれば素晴らしいですね。

第1部 両校の院長が語る過去と未来



青山学院院長
山本与志春

駒澤大学文学部国文学科卒業。埼玉県川口市立中学校の教員を経て、1990年、青山学院中等部教員として着任。2018年7月、第15代青山学院院長に就任。キリスト教学校教育同盟常任理事などを務める。

山本 青山学院はアメリカのメソジスト監督教会から派遣された3人の宣教師が創設した3つの学校を源流とし、現在は関東大震災と東京大空襲をくぐりぬけた青山キャンパスのほかに相模原キャンパスを持ちます。関東大震災の時、青山キャンパスの被災をまぬかれた建物に孤児や、袋へ移転し、98年には新座キャン

西原 立教大学は、アメリカの聖公会から派遣された宣教師によって1874年に東京・築地に開いた私塾から始まります。1918年に池袋へ移転し、

わかちあう精神 「社会や人のために」

上重 未来に向けた両校のビジョンを教えてください。

西原 立教大学としては、創立以来実践してきたリベラルアーツ教育を一層深化させます。2026年4月の開設を目標とし、環境学部を設置構想中です。国際化の推進や最先端の研究力強化など様々な構想を実現していきます。立教学院としては「テーマをもって真理を探究する力」と「共に生きる力」が一貫連携教育の目標です。その基盤となる人間基礎力を涵養するために、他者への配慮が開設されます。建学の精神は、オフィシャル・シンボルにあるラテン語の「PRO DEO ET PATRIA」です。「普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために」と捉えています。青山学院の「サーバント・リーダー」に通じると思います。



立教学院院長・立教大学総長
西原廉太

立教大学文学部キリスト教学科教授。博士(神学)。専攻はアングリカニズム、組織神学など。キリスト教学校教育同盟第28代理事長。日本私立大学連盟常務理事。2021年4月より立教大学総長、22年8月より立教学院院長。

山本 青山学院は30年先を見据えた「MIRAVISION」と創立160周年に向けた「VISION160」のなかで、「キリスト教の信仰にもとづいて教育を行う」という建学の精神をもとに「サーバント・リーダーを育てる」という教育目標

西原 創立者、ウィリアムズ主教が「教育は、人格を陶冶することによって社会に福利をもたらす」という考えを大切にしています。青山学院の創立者にも共通する思いではないでしょうか。

司会



フリーアナウンサー
上重聡氏

立教大学野球部では東京六大学史上2人目の完全試合達成。日本テレビアナウンサーとして活躍後、2024年、フリーアナウンサーに。



元NGT48、タレント
西村菜那子氏

2015年、NGT48一期生としてデビュー。「駅伝に詳しくすぎるアイドル」として、陸上や駅伝関連のメディアに多数出演。

